

本校の社会福祉現場実習について

本校では、社会福祉主事任用資格の取得に係る養成課程指定科目として、社会福祉現場実習指導と社会福祉現場実習を指導しております。

このうち、社会福祉現場実習指導は、社会福祉施設・機関の皆様にご指導いただく前の事前指導および実習後の事後指導で構成されております。また、社会福祉現場実習は、学生一人ひとりが講義や演習、社会福祉現場実習指導で学んだ知識・技術を体験的に学ぶ機会として位置づけております。

それぞれの科目の目的と概要は以下のとおりです。

1. 社会福祉現場実習指導

【授業の目的・ねらい】

[実習前] 授業で学んだ専門知識と社会福祉実践を結びつける。

[実習後] 実習体験を整理し、体験的に得た知識として理解を深める。

【授業全体の内容の概要】

[実習前] 社会福祉現場実習で体験的に学ぶ学習計画書を作成する。

[実習後] 実習体験をレポートにまとめ、実習発表などをおして、体験的に得た知識として理解を深める。

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

[実習前] 授業で学んだ専門知識と社会福祉実践を結びつけ、実習計画書を作成する。

[実習後] 実習体験を整理し、体験的に得た知識として理解を深める。

2. 社会福祉現場実習

【授業の目的・ねらい】

社会福祉実践を体験的に学び、支援に必要な知識と技術を体得する。

【授業全体の内容の概要】

事前に作成した実習計画書に基づき、社会福祉施設・機関の実習に取り組む。

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

社会福祉施設・機関の実習をおして、支援に必要な知識と技術を体験的に理解する。

※本校の学生全員に共通する社会福祉現場実習の学習プロセスは別添資料のとおりです。

職場の理解

《実習前半からの学び》

- 職場のミッション
- 実習施設・機関の運営管理
- 組織スタッフ（全職種）の役割
- 異なる職種スタッフ相互の理解
- 職場内のチーム・アプローチ
- 地域の関係機関との連携
- 社会資源の活用状況
- その他

職種理解

《実習前半・中盤からの学び》

- 福祉専門職（相談員、生活支援員、ケースワーカー、査察指導員、ケアマネジャーなど）と関連職種（事務職、ケアワーカー、看護師など）の業務全般
- 面接の同席、家庭訪問への同行
- 関係機関・関係者との連携
- その他

相談援助の理解

《実習中盤・後半からの学び》

- ケースワークの実際
- グループワークの実際
- 支援計画策定・実施・評価の実際
- 権利保障・権利擁護の実際
- コミュニティワークの実際
- 社会資源の活用・開発の実際
- その他